



## ANA 整備部門の基幹システム刷新プロジェクトを開始

～ Swiss-AS 社ならびに MINT Software 社と契約を締結 ～

- ANA 整備部門の基幹システムを新システムに刷新するプロジェクトを開始しました。
- 新システムには、Swiss-AS 社の「AMOS」と MINT Software 社の「MINT TMS」を採用し、国際標準に基づく業務プロセスへ変革します。
- 新システムによって、整備データの一元化とリアルタイムな可視化を実現するとともに、データ活用と分析の強化により整備部門の技術力を高め、航空機の安全と運航品質をさらに向上します。



全日本空輸株式会社(本社:東京都港区 以下、ANA)は、Swiss Aviation Software 社(本社:スイス 以下 Swiss-AS)、MINT Software Systems 社(本社:ドイツ 以下 MINT)と整備部門の基幹システムを全面的に刷新するプロジェクトに関する基本契約を締結し、プロジェクトを開始しました。

本プロジェクトでは、新システムに航空機やエンジン・装備品整備を管理するシステムとして、世界的に実績を持つ Swiss-AS 社の AMOS と、訓練・資格管理システムとして計画からリソース最適化まで強力な機能性で業界を牽引する MINT 社の MINT TMS を採用し、2027 年度内の稼働開始を目指します。

現在、ANA を含むグループ整備部門では、専門分野ごとに 10 を超える主要な整備システムを個別に運用しているため、データが各整備システムに分散し、部門横断的なデータ活用やリアルタイムな状況把握に時間を要するという課題を抱えていました。

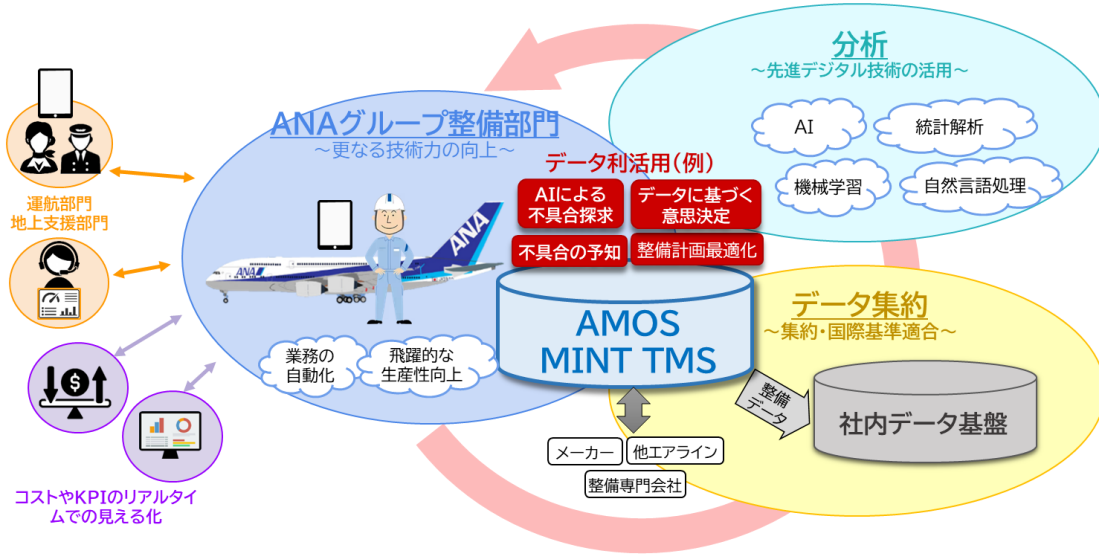
そこで、AMOS と MINT TMS を採用し、整備業務の基幹システムを刷新・統合することで、整備データの一元化とリアルタイムな可視化を実現します。加えて、国際標準に基づく業務プロセスへ変革し、不具合の事前予知や整備計画の最適化等、データ活用と分析を一層強化します。世界の航空会社が活用している先進的なソリューションと、これまで培った ANA の知見を融合させることで、整備部門の技術力を更に高め、航空機の安全と運航品質の向上につなげます。

今後も高度化するデジタル技術を活用した継続的なデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、スマートな働き方の実現と、航空業界の発展に貢献してまいります。

# ANA 整備部門におけるDX 推進イメージ

部門を超えたシームレスな  
デジタル連携

データの最大活用による  
「ヒト×デジタル」への業務変革



重要整備データの一元化と  
先進デジタル技術活用基盤構築

以上

報道機関からのお問い合わせ先:

ANA 広報部 03-6735-1111

STAR ALLIANCE ✨